



桑の緑

小坂小学校 学校便り

令和3年4月20日
文責：校長 江上 知男

授業参観・PTA総会・学級懇談を実施しました！



初授業参観(1年)

4月17日(土)の午後から保護者の方々にお集まりいただき「PTAの日」を実施しました。「コロナ第4波」の兆しがある中、「最後のチャンスかも知れない」と考え、PTA役員の方々と相談のうえ実施に踏み切りました。教頭の集計によれば、授業参観が90%超え、総会が約60%、懇談は約75%の出席率でした。たくさんの保護者の皆様にお集まりいただきありがとうございました。

さて、PTA総会では今年度役員が承認され、令和2年度役員との「引継ぎ」が行われました。令和2年度の「谷頭組」は、様々な行事がコロナ禍で中止になる中、最後まで「できること」を模索されました。「半日運動会」がスムーズに実施できたのも、「谷頭組」の大きな功績でした。懇親会が実施できなかったのが心残りです。1年間大変お世話になりました。一方、令和3年度の「本田組」は、前年度に負けず「明るい、そして素晴らしい人格者」の集まりです。コロナ禍で「できること」は不透明ですが、1年間どうぞよろしくお願いいたします。

PTA総会の中で、校長が話させていただいた、「学校運営方針」の概要です。

○**学校教育目標は「気付き、考え、行動する小坂っ子」**→今後AIの時代になれば、今の子どもたちが大人になったときの仕事は一変する。「人から指示された行動」だけでなく、「自分で考えて行動する」力がないと、新たな時代を切り抜けて幸せになれない。そのための目標。

○**各ご家庭と連携したいこと**

- ①<心を育てるため>ちょっとだけ「きつい」体験を！→学校も家庭も、子どもたちに「転ばぬ先の杖」を与えすぎではないか。「自分の気持ちを最後まで自分の言葉で語らせる」「自分で決めたことを最後までやり通させる」など、学校と家庭が連携して自律・自立する心を育てたい。
- ②<学ぶ力を高めるため>ちょっとだけ読書時間の確保を！→本校の子どもたちの課題は「インプット」、すなわち読んだり聞いたりする力。子どもたちが自分の持てる力を発揮するためにも、学校でも家庭でも、短時間でも良いので「読書の時間」を確保したい。
- ③<体を育てるため>ゲーム等の知識と実態把握を！→ゲームやSNSは子どもたちの多くの時間を占めているが、学校も家庭も子どもがどんなゲームをしているか、健康にどんな影響が出始めているか等の真実に気付いていない。学校と家庭が連携した取組を推進したい。
- ④**担任を信頼していただけたい！**→担任は学校教育目標を達成するために、様々な取組を行う。どうか、先生たちを信頼していただきたいし、疑問があったら尋ねて欲しい。

雨にも負けず歓迎遠足！

4月16日(金)、空とにらめっこしながら歓迎遠足に出かけました。途中何度かパラッと来ましたが、何とか平成音大に到着し、予定どおり児童会のゲームや自由遊びで楽しい体験をし、おいしいお弁当に舌鼓を打ちました。そして、平成音大の学生さんから、素晴らしく心がこもった歌や演奏のプレゼントをいただき、みんなで感動することができました。前年度から準備してくれた担当者や関係者のおかげです。心から感謝します。



1年生と6年生

熊本地震から5年…学校では「命と防災の日」として、避難訓練を実施しました。だんだん薄れゆく記憶や感覚の中で、「どう引き継ぐのか」難しい問題と感じています。各ご家庭でも時々話題にいただき、「災害が起こったらどう避難する」等の地震で得られた教訓を確認いただけたらと思います。